

～「自分らしさ、好き」を伸ばす～

絶滅危惧種「キマダラルリツバメ（蝶）」の生態解明に関する研究

「但馬のチョウを全種観察コンプリートする」。森田晃史さん（日高小6年）は、3年生の理科の授業で、姿形を変えて変態するチョウに興味を持ち、それ以来、但馬に生息する約100種のチョウの全種観察を目標にフィールド調査を行い、3年間で74種のチョウを観察しました。

現在研究しているのが「キマダラルリツバメ」というチョウの生態です。このチョウの幼虫は、「ハリプトシリアゲアリ」というアリと共生して成長します。幼虫はアリにエサを与えてもらう代わりに、背中から蜜を分泌し、アリに与えます。森田さんは、昨年から飼育による観察を行い、産卵から羽化まで挑戦しています。日高小学校に植樹してある木にもアリを発見し、現在調査中です。

但馬では多種のチョウが見られるため、全国から研究者が集まるそうです。森田さんがチョウを研究する理由は、「少しでも多く生態を理解し、将来的には飼育ではなく、自然個体を増やす方法を見つけ、保全に役立たい」と考えているからです。

但馬各地を調査、観察する中で、但馬のいたるところで鹿の食害による希少植物の減少を実感し、神鍋山ではスミレが激減していることに気づきました。気候変動・温暖化により、低温で生息するチョウが絶滅するのではないかとということも心配しています。森田さんは、「将来は、環境保全に関する研究者になりたい」という夢を持ち、新たな発見に向けてチャレンジしています。

この研究に※「ロートこどもみらい財団」による支援が決定しました。同財団は、自分らしさを発見・探求し、未来社会を創る子どもたちのアイデアの実現に向けた研究や調査を応援するため、助成金やメンタリング（助言や対話）等の支援を行っています。このように、周りの大人たちが伴走者となって、子どもの「自分らしさ、好き」を応援していくことが大切ではないでしょうか。



▲ 生態について嶋教育長に説明する森田さん

園でのひととき（資母認定こども園）



「うんとこしょ！どっこいしょ！」にんじんがめけたよ。
おいしいスープになあれ

※一般社団法人ロートこどもみらい財団

ロート製薬株式会社が、次世代を担う子どもたち一人ひとりの個性を尊重した未来社会を実現すべく、2021年に設立。

豊岡市教育委員会は、子どもたちに多様な学びの機会を提供するため、2023年に同財団と包括連携協定を締結した。

同財団は、ウェブサイト上に「ロートシップ」というコミュニティを構築し、不登校の子どもや居場所が少ない子どもも参加できるよう学びの場を提供するプログラムを全国的に展開している。



▲詳しくは、ロートこどもみらい財団ホームページをご覧ください。

【問合せ 学校教育課 Tel.23-1452】

子どものいじめや不登校、子育ての悩みや虐待防止などについて
子どもや保護者からの相談に応じています

- 豊岡市こども支援センター
 - ・不登校相談、発達に関わる相談
 - ・子育て家庭相談
 - 豊岡市教育相談専用ダイヤル
 - 豊岡市青少年センター
 - ◆ 兵庫県豊岡こども家庭センター
 - ◆ ひょうごっ子悩み相談センター
 - ◆ 但馬教育事務所「教育相談窓口(面談)」
- | | | |
|------------------|------------|-------------|
| Tel 24-8303 | 月～金 | 9:00～17:00 |
| Tel 21-9003 | 月～金 | 9:00～17:00 |
| Tel 22-5110 | 月～金 | 9:00～17:00 |
| Tel 0120-01-7867 | 月～金 | 9:00～17:00 |
| Tel 22-4314 | 月～金 | 9:00～17:45 |
| Tel 0120-0-78310 | 24時間ホットライン | |
| Tel 24-1520(要予約) | 第2木 | 13:00～15:00 |

教育長のホットひと息

3学期の始業式で、市内小学校の校長先生が子どもたちにこんな質問をしました。「皆さんは、どんな自分で在りたいですか?」。なりたいですか?ではないのです。そして、こう続けました。「あなたには、良いところが必ずあります。4月までの50日、自分の良いところを見つけて、こんな自分で在りたいなあという気持ちを持ち続けましょう。」さて、「在りたい」と「なりたいたい」の違いは?